

Bangladesh と関わって



KONOIKE
GROUP

鴻池運輸株式会社
宮田 晃宏



宮田 晃宏
Akihiro Miyata

**鴻池運輸株式会社
国際物流関西支店 営業部
課長**

[経歴]

- 1991年 鴻池運輸株式会社入社
- 1991～2001年 国際物流関西支店にてフォワーディングの業務・営業に従事
- 2001～2008年 フィリピン現地法人に出向
- 2008～2023年 国際物流関西支店に所属しながら、 Bangladesh 現地法人の設立を担当。
Bangladesh への通算渡航回数は52回。
Bangladesh などの、アジア・アパレル物流を得意にしております。¹

- ① 当社がバングラデシュに進出した経緯
- ② 今後のバングラデシュとの関りについて
- ③ 自分の経験に基づくバングラデシュ

①当社がバングラデシュに進出した経緯

2008年頃、チャイナ・プラス・ワンと言われる製造業が中国だけでなく他国においても製造拠点を展開する動きが強まっていた。(政治的弊害、人件費高騰など)

アパレル縫製業は生産コストに占める人件費の比率が高く、労働人口が豊富で、人件費が安い国にシフトする傾向があった。

もともと、欧米向けに衣料品を多数輸出していたバングラデシュでの生産に関する関心が高まった。

🏠 **バングラデシュに拠点を設立することを検討、リサーチ開始**



反日運動は度々発生



縫製原価は人件費比率が高い



欧米ブランドでは
バングラデシュ製は一般的

アパレル縫製業界へのヒアリング



物流に関する不安が大きく、日系物流会社の設立が望まれる

現地法人設立



合併相手 ユーロエクスプレス
(バングラデシュの地場企業。当社代理店)

設立 2009年10月
(開業式実施。営業開始は2010年1月)

資本金 500万タカ(約550万円)
(鴻池運輸49%、ユーロエクスプレス51%)

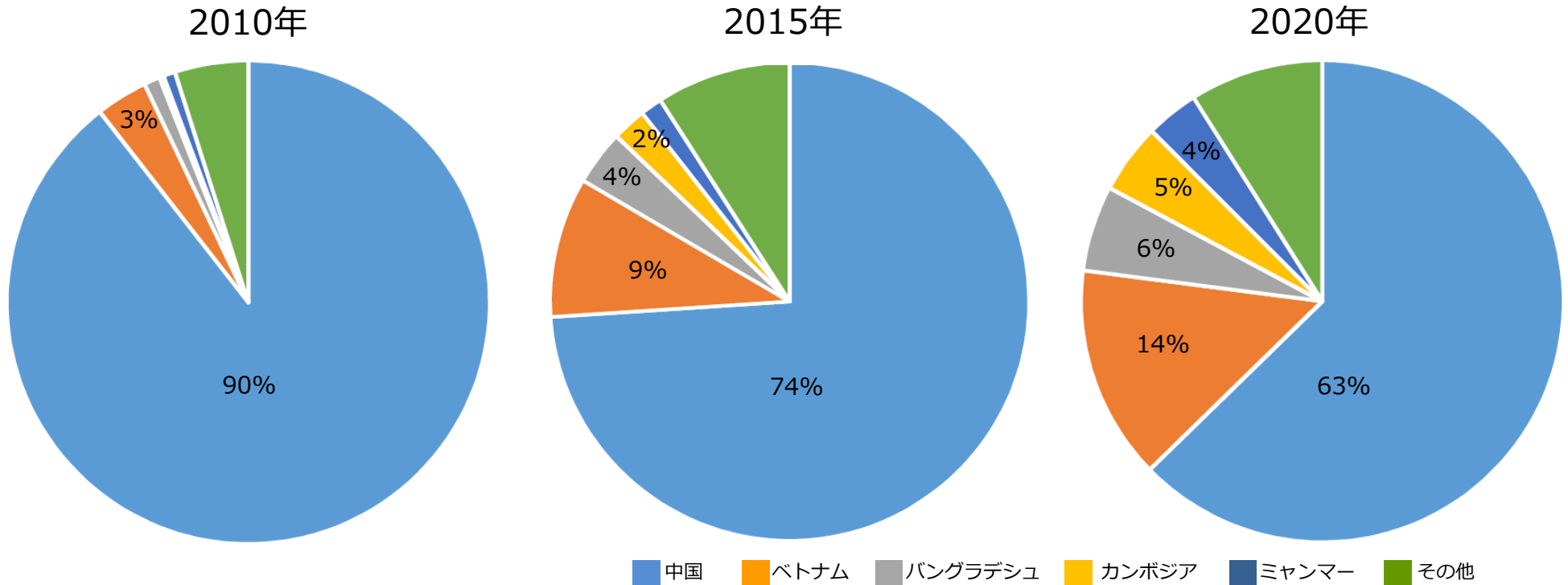
鴻池運輸:
日本での営業、日本式物流管理の指導

ユーロエクスプレス:
設立に関わる実務、日々の法人運営

両社の強みをミックスさせた運営を実現
駐在員を配置せずローコスト運営



日本でのアパレル輸入量の推移



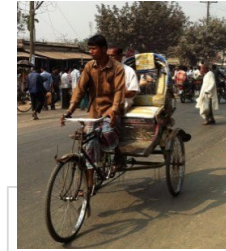
		2010年	2015年	2020年
中国	枚数	3,893	3,119	2,354
	比率	89%	74%	63%
アジア	枚数	244	652	1,064
	比率	6%	15%	28%

アジアはベトナム・バングラデシュ・カンボジア・ミャンマーを指します。

**アジアからの輸入量は
10年で4倍に増加！**

結果として、ある程度の事業基盤を築けました

色々な方にお世話になりました



バングラデシュ



日本

②今後のバングラデシュとの関りについて

2023年4月26日戦略的パートナーシップに関する日バングラデシュ共同声明を見て(私見)

- ①質の高いインフラの整備が地域連結性を高め、バングラデシュ及び地域の発展に寄与する
- ②南部チョットグラム地域のマタバリ深海港を含むプロジェクトにおける著しい進歩
- ③チョットグラム-コックスバザール幹線道路整備
- ④アライハザールに開業した日系企業及び外国企業向けのバングラデシュ経済特区(BSEZ)
- ⑤あり得べき日・バングラデシュ経済連携協定(EPA)に関する共同研究
- ⑥持続可能な食品システムを実現するための新技術の採用、農産物・食品の加工
- ⑦廃棄物処理施設(TSDF)の整備
- ⑧ハズラット・シャージャラル国際空港第3ターミナルの建設
- ⑨ビーマン・バングラデシュ航空によるダッカ-成田間の運航再開
- ⑩2025年大阪万博への参加

様々な分野でのビジネスチャンスがあると思います

関わり方の変化

2010年

2020年

今後

アパレル縫製



4倍



更に増加



市場消費



増加



更に増加



メグナ橋



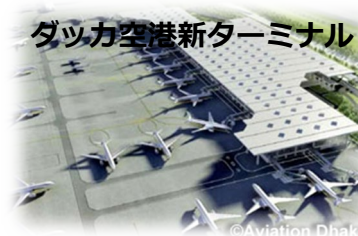
ダッカメトロ6号線



マタバリ地区開発



ダッカ空港新ターミナル



2025大阪・関西万博



ジャムナ鉄道橋



ダッカメトロ計画



バングラデシュSEZ



成田直行便就航



食品流通・加工



自らの経験に基づくバングラデシュ

- ①親日的であり、日本人であることで損をすることは少ないです。
- ②見た目はちょっと怖そうだけど、いい人が多いです。
- ③人は多いです。これをメリットと思うか、デメリットと思うか。
- ④お酒には苦勞します。飲む分は、自分で持って行きましょう。
- ⑤カレーは色々な種類があり、美味しいです。



初めて行った時と比べると、ずいぶん暮らしやすくなりました。
今度も生活環境は良くなっていくと思います。

鴻池運輸 九州地区のご案内

KONOIKE GROUP 九州地区主要拠点



九州地区における特色

エンジニアリング

鉄鋼メーカー様の製鉄所における設備補修、メンテナンス業務を手掛け、自社工場による部材の製作、製缶業務も行っています。

NBS株は国内外で建設される各種プラントや電気計装設計、工事分野に強みがあります。



メディカル + 定温

医療卸売会社様より物流センターでの構内作業を受託しています。

専用車両、専従ドライバーによる医薬品の定点・定時・定温配送業務を行っています。

福岡には3温度帯に対応した定温倉庫を有し、食品類の取り扱いも豊富にあります。



九州産交運輸

自社で315台のトラックを保有し福岡県小郡市、佐賀県鳥栖市、熊本県上益城郡に自社倉庫を持ちます。

半導体関連装置の輸送、搬入に長けた専門チームを有しています。

北九州、博多、鳥栖、八代、鹿児島/JRコンテナターミナルに拠点を有し、鉄道輸送にも特化しています。



国際物流

博多港・門司港を中心にアパレル、食品、設備機械等様々な商材の輸出入業務を受託しています。

福岡空港、北九州空港を利用した九州産食肉、農産物の出荷にも注力しています。



ご清聴ありがとうございました



**KONOIKE
GROUP**